

記載例

がん薬物・様式-4

申請者氏名 _____

申請者所属施設名 _____

薬剤管理指導症例数 50 例 (がん種 _____)

がん患者への薬剤管理指導実績の要約

申請者自身が携わったがん患者への薬剤管理指導の実績として、厳選した50症例を下記の様式に記載し提出して下さい。

当該実績の要約の記載にあたり、次の点にご留意下さい。

- 1) 症例ごとに、患者の年齢・性別、がん種(TNM/Stage)、治療内容(化学療法又は緩和ケア)、入院期間(日数)及び指導内容の要約を記入して下さい。
- 2) 薬剤師としての薬学的介入(副作用管理、処方提案やチーム医療への関わりなど)を具体的かつ簡潔にまとめ、1ページあたり2～3症例分を記載して下さい。
- 3) 患者個人が特定されないよう配慮し、また、広く使用されている用語を使用した上で、パソコンにて当該要約を作成して下さい(手書きによるものは、受け付けいたしません)。
- 4) 本様式の最終頁に、所属長による50症例分の要約への関わり合いの証明を受けて下さい。

症例 (1)	年齢・性別	65歳・男性
	がん種(TNM/Stage)	非小細胞肺癌(Stage IV)
	治療内容	<u>化学療法</u> (CDDP+GEM療法), 緩和,
	入院期間	11日間
	薬剤管理指導業務 内容の要約	化学療法開始のために入院。前日にレジメンチェックを行い、薬剤情報の提供と注意すべき副作用について説明を行った。入院中は軽度の吐き気と便秘が認められたため、主治医に支持療法の処方提案を行い、いずれも改善した。退院時指導(day10)の際、前日の採血結果より更なる好中球数の減少と発熱のリスクが危惧された。主治医に報告を行い、発熱性好中球減少時の早期治療として経口抗菌薬が退院処方として追加となる。発熱時の抗菌薬の服用方法と生活上の感染予防について説明を行い、退院となった。

症例 (2)	年齢・性別	60歳・男性
	がん種 (TNM/Stage)	胃がん (Stage IV)
	治療内容	化学療法 (S-1+CDDP), 緩和,
	入院期間	13日間
	薬剤管理指導業務 内容の要約	S-1+CDDP 療法初回投与予定で入院。S-1 の薬剤指導時に患者より通過障害がありカプセル剤の内服が困難と言われる。そのため医師に懸濁法を試みてはどうかと提案し了承される。患者に温湯による簡易懸濁法を説明し、問題なく内服できることを確認した。Day8 に CDDP 投与のため、投与前日にレジメンチェックを行い問題ないことを確認。患者・家族に対してスケジュール、副作用とその対策について説明し理解を得た。その後問題なく経過し退院となる。退院時に副作用対策のための薬剤 (抗菌剤、解熱剤、下痢止め、制吐剤) が処方され、自宅での副作用予防・発現時の対応を含め説明した。
症例 (3)	年齢・性別	72歳・女性
	がん種 (TNM/Stage)	乳癌、肺転移 (Stage IV)
	治療内容	化学療法 (, 緩和,
	入院期間	20日間
	薬剤管理指導業務 内容の要約	呼吸苦および疼痛の増強のため緊急入院。オキシコドンの経口投与ではコントロール不十分であったため、PCAポンプによるモルヒネ注の持続皮下注に切り換えとなった。モルヒネへのオピオイドローテーションについて投与量の換算および投与開始時期を担当医に助言。患者および家族に対してはPCAポンプによる持続皮下注での生活上の注意点および疼痛時のボーラス投与について説明した。その後、除痛効果および副作用について観察を行った。疼痛はモルヒネの漸増により軽減したが排便回数が減少。下剤の増量について検討したが、水分の経口摂取がほとんどされておらず脱水症状が疑われたため、輸液管理の強化を提案。輸液が開始となり脱水および便秘症状について経過を観察した。

症例 (4)	年齢・性別	60歳・女性
	がん種 (TNM/Stage)	大腸がん (StageIV)
	治療内容	化学療法 (セツキシマブ単独療法), 緩和,
	入院期間	外来化学療法
	薬剤管理指導業務 内容の要約	<p>外来セツキシマブ投与患者に対し、毎週投与毎に外来通院治療センターにて薬剤情報の提供と副作用の確認を行っていた。主治医の診察がない日の投与10コース目の副作用確認にて手の指先に亀裂、爪囲炎の軽微な症状がみられ、先に処方ステロイドの軟膏と保湿剤の使用の指導を行い経過を観察していた。</p> <p>(爪囲炎初期に対する医師との事前合意事項) 次週の投与時には症状が悪化し、日常生活の炊事等に影響が見られ、主治医の診察の依頼と皮膚科への受診依頼を行い受診となった。皮膚科の受診し軟膏が新たに処方され、薬剤指導を行う。その後改善傾向へとなり、経過観察となった。</p>
症例 (50)	年齢・性別	42歳・男性
	がん種 (TNM/Stage)	非小胞肺がん (Stage IV)
	治療内容	化学療法 (), 緩和,
	入院期間	4日間
	薬剤管理指導業務 内容の要約	<p>TC療法 (CBDCA+PTX) 1コース目的に入院。医師のオーダーについて投与量、投与速度等のレジメンチェックを行った。Cockcroft-Gaultを算出し、Calvert式よりCBDCA量を計算したところ、医師のオーダー量と違っていた。疑義照会を行い、医師の計算間違いであったことがわかり変更になった。投与前日に投与スケジュール、副作用の説明を行うと共にアルコール摂取歴の調査を行った。TC療法投与初日、次の日と副作用の確認したところ特別な副作用はなく退院となる。</p>

上記の薬剤管理指導実績の要約50症例分については、申請者本人が自ら携わったことを証明します。

施設名 医療法人 ○○○○○○病院

所属長の役職名・氏名 薬剤部長 ○○ ○○ (印)

※ 赤枠内の「所属長の役職名・氏名」については、自筆による記名をして下さい。
なお、捺印も忘れずにお願いします。